



平成28年度

市民健康大学

演題

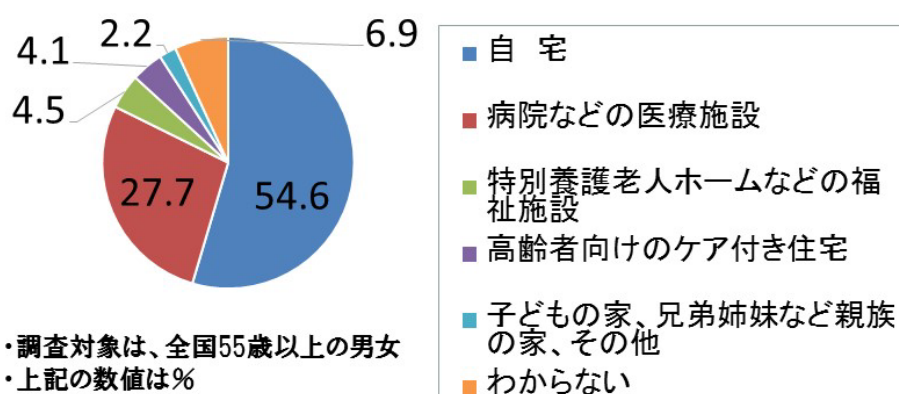
市内医療機関・
介護事業所マップ
の活用法

豊岡市高年介護課 伊達
平成28年10月19日

-1-



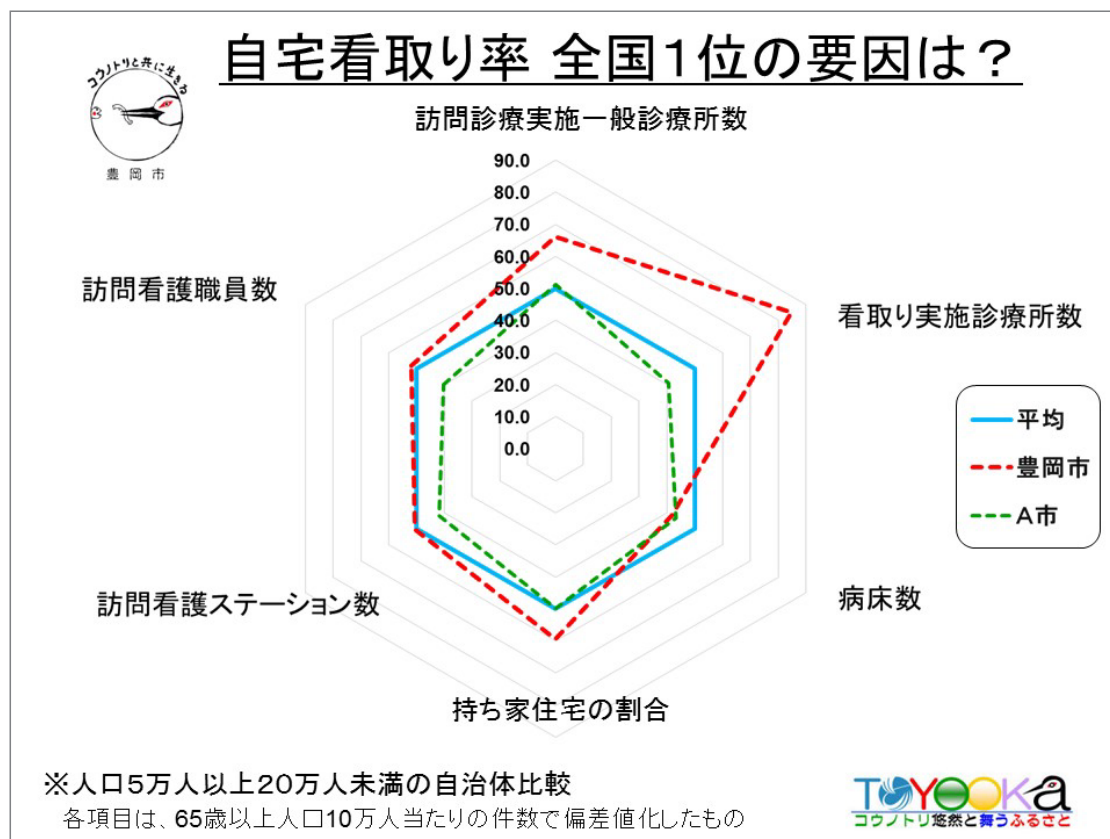
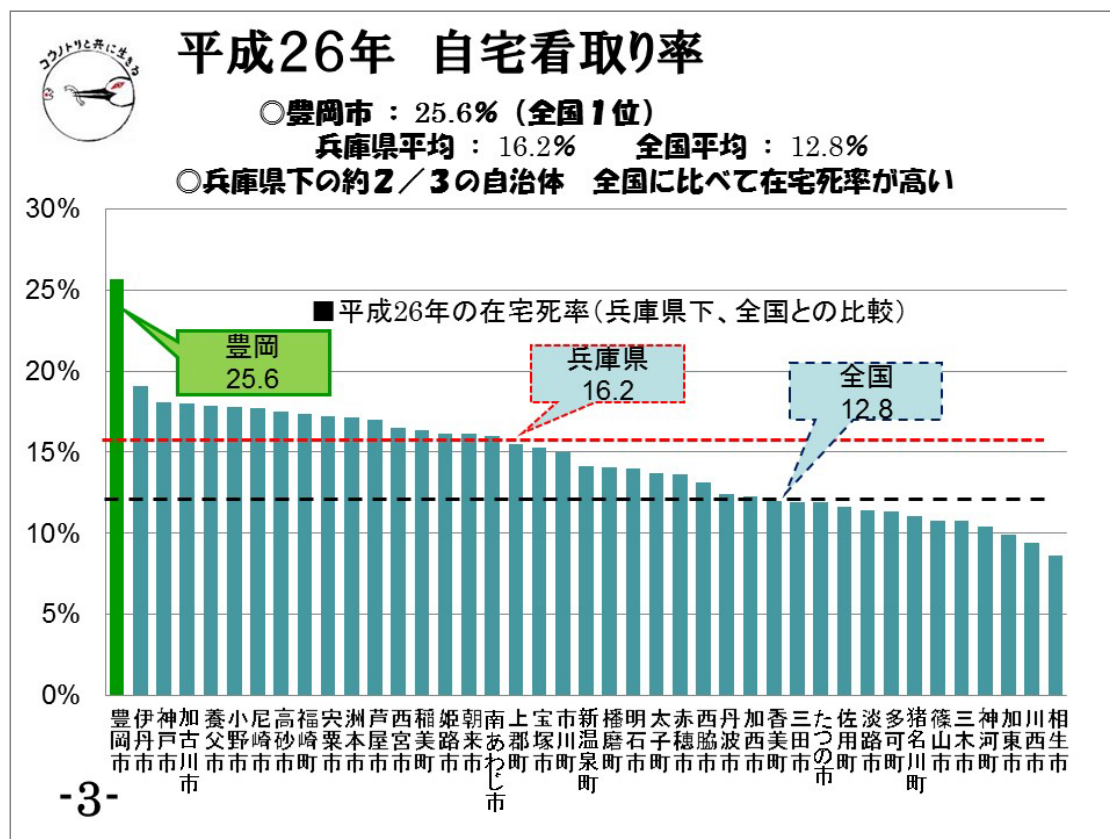
最期を迎えたい場所は 「自宅」が半数を超える



「治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいか」についてみると、「自宅」が54.6%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」が27.7%となっています。

資料：内閣府「高齢者の健康に関する意識調査」（平成24年）

-2-





自宅看取り率 全国1位の要因は？

クリ1

	豊岡市	A市
人 口	8万6千人	7万人
65歳以上人口	2万5千人	2万1千人
一般診療所数	67	63
訪問診療実施診療所数	28	14
看取り実施診療所数	12	1
訪問看護ステーション数	6	3
24時間対応看護職員数	21人	10人

-5-



訪問診療・往診の現場から

- ・開業したのは、介護保険制度ができる前だった。今のよう
に特養や老健などの入所施設がなく、診療時間の合間、
1日に7件と、がむしゃらに訪問診療をした。みんな、私を待っていた。
- ・「おかげで、家で逝けました」
ー頑張ってよかった。



-6-



山間部から海辺の村へ、峠を越えて別地区へ。一日に車で60kmの道のりを走る事がある。冬には1m以上雪壁ができる道を必死でハンドルをきる。待ってもらえる人の笑顔を思い浮かべ走る。安心だと言ってもらえる事がこの仕事の原動力。看護は人の人生に関われる貴重な仕事と感激した日から30年経つ。在宅で療養する人達の役に立ちたい。家で最期を迎えたいと望む人の力になりたい。その思いが、24時間の制約がある事も疲労も吹き飛ばしている。



訪問看護の現場から

-7-

TOYOOKA
コロナ禍と自然と舞うふるさと



「やっぱり家がいい」に応えたい

訪問看護の現場から



健康を損なってはもらいますが、「いつもの風景」、「いつもの生活」の中で、最期まで冗談を言い、ご家族を思い、守り、感謝の言葉を残して逝かれる方が多くあります。

看護が好き、天職として、できるだけ、この仕事を続けたい。

-8-

TOYOOKA
コロナ禍と自然と舞うふるさと



-9-



クリオ

高齢者福祉制度や介護保険の利用

相談や申請

高齢者福祉制度やはじめて介護保険を利用しようとする場合などで
ご不明のことがありましたら、各地域包括支援センターや高年介護課、各振興局の市民福祉課に「電話」をお願いします。

まず、電話やね



各地域包括支援センター、高年介護課、健康増進課の電話番号は、「市内医療機関・介護事業所マップ」の裏表紙をご覧ください。

TOYOOKA
コロナと悠然と舞うふさと



ご清聴ありがとうございました

振り込め詐欺や不審な勧誘電話などにご注意ください

-11-

TOYOKAKA
つうとり 悠々と舞うふるさと ふうふるさと